



両面印刷

自分らしく ~Be Unique~

第40号

聖吾智 (みわとも)

心に響く挨拶（あいさつ）の輪を広げましょう！

4年生教室は職員室や校長室から一番近いところにあるので、時間がなくても寄れる場所にあります。よって教室に行く回数も自然と多くなります。「(今月の歌の声が)校内から聞こえていないなあ」と感じると、まず4年生に行きます。私が「もっと声を聴かせて」というジェスチャー(耳に手をあてる)をすると、すぐに声のボリュームが上がるところがかわいらしいのです。担任のK先生も一緒に大声で歌っています。4年生の子たちは、校長室前を通るときに立ち止まってお辞儀する子も多く、何と先週は閉まっている窓の外から「こんにちは」と言ってきました。最初に聞こえてきたときは、私に言ってきたと思わなかったのですが、2人目の子が窓(外が見えない片板ガラス)に顔を近づかせてきて挨拶したので、このときに初めて私にしているんだと気づきました。「ここまでやるか」とビックリすると同時に感動しました。

各クラスでも担任の先生から話があるのでしょ。先週は「子どもたちの挨拶がよくなってきたなあ」と感じました。遠くからでも挨拶を返してくれる子も増え、「地域に響く」挨拶に一步步近づきつつあります。「心に響く挨拶」はみんなを幸せにし、1日の活力につながります。ぜひ広げていきたいものです。

一方「地域に響く歌声」については学年差が大きいようです。「歌」には挨拶と同様たくさんの心理的効果があります。「歌のチカラ」を朝から活用しましょう！

24日の3・4校時に、1年生「生活科」の授業で標記大会が行われました。校長にも依頼が来てコマまわしを担当しました。カンを取り戻すのに時間がかかりましたが、少しずつ思い出して何とか回すことができました。大会冒頭の校長あいさつでも述べましたが、私の子どもころはコマ、たこあげ、メンコ（私の地元ではベタ）、ビー玉は主要な遊びでした。モグラ打ちなどの楽しい行事もありました。年上からの容赦なき勝負（コマを割られて芯を奪われ、メンコは取られ）に対峙し、ずいぶんこなされました。しかし、そのことで負けじとスキルアップに励み、上手になったのも事実です。この日は童心に帰ることができました！

童心に帰ることができた「昔遊び大会」

水上村に続けたい！

箱根駅伝で総合優勝した青山学院大学（青学）の選手が「水上村」のロゴの入ったユニフォームを着ていたので長時間「水上村」の文字を目にしたことで今回全国から注目を浴びたのです。水上村は「合宿の郷」づくりを進め、青学の合宿も受け入れています。

微力ながら矢部小もHPを駆使して情報発信することで「バタフライエフェクト（小さな羽ばたきから竜巻を起こす）」を狙ってます。

そのことに関連して、今週末に「あるイベント（式）」を行います。「これは広く情報発信する価値のある内容だ」と思いましたので、県内メディア各社にも情報提供しました。当日、何社集まるかはわかりませんが、新たな動きがありましたら、おって連絡します。

日	曜	校内行事	給
1	土		
2	日		
3	月	矢部中新入学生 学校説明会(6年生参加)14:00~16:20 命の学習月間	○
4	火	⑤⑥(行)新入児体験入学(5年)さんサンなかま作品展(やまと文化の森 ~24日)	○
5	水	校内研修	○
6	木	全校集会 elタイム ⑥委員会活動【10】(総会準備) 町特別支援学級お別れ会	○
7	金		○
8	土		
9	日		
10	月		○
11	火	建国記念の日	
12	水	児童総会⑤→3月6日へ 校内研修	○
13	木	わくわく号来校 ⑥クラブ活動【8】? elタイム 児童集会	○
14	金		○
15	土		
16	日		
17	月	メディアチャレンジウィーク~21日	○
18	火	6年 認知症サポーター研修	○
19	水	職員会議【14】	○
20	木	elタイム ⑥クラブ活動【9】(3年生見学)?	○
21	金		○
22	土		
23	日	天皇誕生日	
24	月	振替休日	
25	火	さんサンなかま作品展搬出(15時~17時)	○
26	水	リボン呼びかけ(1-2) 校内研 諸費納入日(ラスト)	○
27	木	リボンの日 ⑥委員会活動【11】(年間ラスト 総会準備2) elタイム のびのびタイム	○
28	金	月末統計 特別日課(5時間授業) ⑤授業参観 PTA研修 学級懇談会 6年清和文楽鑑賞	○

2月行事予定

※変更の可能性もあります。

矢部抄

週末に東京在住のアラサー息子が帰省した。同級生の慶事に出席するためである▼彼はクレイゲームが得意で、校長室に飾っているドラゴンボール孫悟空フィギュアはその獲得物である。今回は(自身が寝るための)サメの形をした寝袋やペットボトル麦チョコ(下図参照)と魅力ある「ブツ」を持って帰ってきた▼プチマナーゲームも手がけているようだ。甘えたことを抜かし、いまだに母親に甘えている部分もあるが、意外と生活力はあるのかもしれない。昨日の午後、東京に戻った▼元大リーガー・イチローさんがアメリカ野球殿堂入りした。引退後もなお厳しいトレーニングを続けており、コーチを受けている現役高校球児もイチローさんの走る姿・キャッチボール・打撃を見て「すごい」と感嘆の声を漏らすほどである▼NHK「プロフェッショナル仕事の流儀」で語っていたイチローさんの言葉が刺さった。「近道はない。遠回りこそが一番の方法」「達成感がない。だからやり続ける」など。桂宮治さんのラジオでは「落語は、死ぬまで噺(はなし)を覚え続けるのが仕事」と言っていた。イチローさんや宮治さんの話を見聞きしていたら気分が入った。3月で60歳になる私だが、まだまだ老けこんでいる場合ではなさそうだ!



